

北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ

第1回 準備・運営会議会議録（要旨）

1 開始日時 平成 25 年 11 月 27 日（水） 19：00～20：30

2 開催場所 外環オープンハウス三鷹常設会場

3 出席者

【出席者】 38 名

関係団体から推薦を受けたメンバー、P I 外環沿線会議委員、学識経験者、運営事務局（三鷹市、国土交通省、東京都、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社）

【欠席者】 8 名

4 議題

(1) 確認事項

ア 北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ開催方針について

イ 北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ準備・運営会議規則について

(2) 審議事項

ア 座長及び副座長の選任について

イ 北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ運営要綱（案）について

ウ 北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップの進め方について

5 傍聴者の人数 7 名

6 議事

（事務局）7 人の傍聴を確認。

〈主催者挨拶〉

三鷹市長

- ・東京外かく環状道路に関して、三鷹地域では、中央道とのジャンクションや東八道路のインターチェンジが計画されるなど、地域に与える影響は極めて大きい。
- ・三鷹市では、ワークショップなど、市民の創造的な参画を可能とする手法の導入を図り、関係機関や市民の協働によるまちづくりを推進するべきであると、国及び東京都に要望し、提案してきた。
- ・平成 20 年には、「東京外かく環状道路中央ジャンクション三鷹地区検討会」を国・東京都・三鷹市の共催で実施した。そこでの意見を受け、平成 21 年 4 月に、「東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）対応の方針」が国及び東京都より策定された。
- ・今年の 10 月 30 日に、国土交通省関東地方整備局長に「東京外かく環状道路（関越～東名）中央ジャンクション（仮称）工事の実施及び北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ開催に先立つ三鷹市の要望書」を提出した。
- ・北野の里（仮称）の実現に向けて、中央ジャンクション（仮称）の蓋かけ上部空間等の利用と周辺のまちづくりについて検討するため、平成 26 年（来年）の 2 月から 3 月にかけて、ワークショップを開催することとした。体制としては、主催者が三鷹市、共催者が国と東京都、協力者が東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社である。
- ・国及び東京都には、よりよいワークショップづくりに協力願いたい。

国土交通省関東地方整備局東京外かく環状国道事務所長

- ・用地買収は、中央ジャンクション近辺の予定地のうち、現在までで4割強を提供していただいている。
- ・周辺の安全や環境に配慮しながら、工事に入っていきたい。
- ・「対応の方針」が作られた平成21年のときの計画に比べ、蓋かけ上部空間を増やすことができた。
- ・ジャンクション部分には、いくつかの制限や管理に必要な空間もあるが、できる限り地域等の要望に応え、有効に活用できるようにしたい。

東京都都市整備局外かく環状道路担当部長

- ・平成20年のワークショップの際も、検討結果をまとめていただき、感銘を覚えた。外環も事業化がされ、工事着手の段階となった今、ワークショップで検討していただく機会はあるがたい。
- ・東京都としては、2020年のオリンピックに向け、外環を造っていかなければならないが、高速道路を造るだけでなく、ジャンクション、インターチェンジ周辺のまちづくりの面からも、今回のワークショップは大変意義がある。

〈事務局による資料説明後、メンバーから出た主な意見は以下のとおり〉

（１）確認事項

ア 北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ開催方針について

- （メンバー）機能補償道路については、どのようにワークショップの中で考えていくのか。
- （事務局）機能補償道路については、周辺のまちづくりの中に係る議論となる。

イ 北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ準備・運営会議規則について

- （事務局）特に意見等ないので、この規則で承認されたものとする。

（２）審議事項

ア 座長及び副座長の選任について

座長及び副座長の選任について

座長及び副座長について、以下のとおりに選任された。

座長：三鷹市景観審議会 会長

副座長：三鷹市農業委員会 会長

三鷹市東部地区住民協議会 副会長

新川中原住民協議会 会長

イ 北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップ運営要綱（案）について

- （座長）意見・質問等がないので、原案の通りで承認されたものとする。

ウ 北野の里（仮称）を中心としたまちづくりワークショップの進め方について

- （座 長）ワークショップは「無作為抽出」の人だけで行うのか。
- （事務局）ワークショップは、準備・運営会議の構成員 31 名と無作為抽出により当選された 30 名の計、約 60 名にて行う。
- （座 長）今回のアウトプット（報告書）は、どんなレベルでまとめるのか。
- （事務局）図面上に施設配置等のゾーニングを提案してもらうイメージで考えている。
- （座 長）ワークショップ方式は皆さんが頭の中のイメージを話し合うものなので、ファシリテーターに絵が描ける人がいた方がいいのではないかな。
- （事務局）我々としては少しずつ具体像に近づけたいと思っている。今回は大まかなゾーニングを決めてもらう。
具体的な絵を描くことで、誘導となってしまう可能性もあり、メリットとデメリット双方あると考えるが、今回のワークショップで終わるわけではなく、その提案をもとに継続的に検討してステップアップしていきたい。
- （座 長）理解した。ワークショップの意義は「市民のニーズがどこにあるか」である。その実現性を考えるのは専門家の役割である。
また、ここでの検討は北野だけのものではなく、三鷹市全体のものであり、市全体の中で考えることが必要である。基礎的な情報として、三鷹市の既存施設の配置状況等は整理して示すべきである。
- （メンバー）今回のワークショップやその次のステップで何を求め、最終の結論はいつ出すのか。
また、ワークショップの手順について明確にしてほしい。
- （事務局）前回のワークショップと同様、各グループの意見を一つにまとめるということはない。その上で、市側の方で段階を踏み、1 つの市の方針にしていきたい。
- （メンバー）絵に描いた餅になっても仕方ない。時間も限られている中である程度、遊び場広場・運動広場・畑の広場などとテーマを絞って議論することが必要だと思う。
- （座 長）過去のワークショップで議論され、前提となっている事項を整理して提示することもある必要である。
- （メンバー）要綱の「技術的なアドバイス」の「技術的」とはどんな意味か。
私としては、枠にとらわれずに自由に「三鷹らしさ」を考えられるものと思っていた。
技術的な制約・制限があるなら事前に教えてもらいたい。
- （事務局）ワークショップでは、夢を膨らませてほしい。ただ、技術的な限界線もあるので、それを聞ける人を配置する。
- （メンバー）「蓋かけ上部」と「周辺まちづくり」の 2 つのテーマがあるが、「周辺まちづくり」はおまけで終わってしまわないか。
- （事務局）プログラムの中で周辺まちづくりに関しても、皆さんにご意見いただけるように進めていきたい。
- （メンバー）地図情報については、配慮が必要である。
- （メンバー）事前の情報（資料）提供は可能か。3～4 時間の会議では出せるアイデアも限られる。事前に各自で検討しておくことも必要である。

- （メンバー）ワークショップの実施について日時の変更は可能か。
- （事務局）今の所、提示した日時で準備を進めている。大多数の方が不都合であれば変更も考える。

【その他】

- （メンバー）本日配布された概念図に方位がなく分かりにくい。
- （メンバー）壁に貼ってあるゾーニングイメージの図面を事前に配布してもらいたい。
- （事務局）行政間で調整のうえで検討させてもらいたい。
- （事務局）次回は12月20日（金）19：00～20：30を予定している。場所は、外環オープンハウス三鷹常設会場とする。

以 上